

案件概要書

2017 年 10 月 31 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ジブチ共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名
ディキル州国道一号線のうち、ジブチ - エチオピア国境から南東に約 20km の区間。
- (3) 案件名：国道一号線改修計画（The Project for Upgrading of National Road Route 1）
- (4) 事業の要約：ジブチ回廊上の要衝である国道一号線のうち特に損傷の進んでいる区間（約 20km）の改修を実施することにより、交通の円滑化及び安全の向上を図り、もって同国の持続可能な発展のための経済社会基盤整備に寄与することを目的とする。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ジブチは、国内の民主化と内戦の終結に向けた努力を続け、現在では紛争の多発する「アフリカの角」と呼ばれる地域における安定国として位置付けられている。また、スーダン和平、ソマリア和平等に加えて、ソマリア沖海賊対策にも積極的に貢献しており、我が国自衛隊等を含め、各国のソマリア沖海賊対処の拠点となっている。同国に対する支援は、同国の経済的自立のみならず、東アフリカ地域の安定、更に我が国関連船舶の安全な航行を含むソマリア沖海賊対処の観点からも大きな意義を有している。

2009 年に我が国がアデン湾・ソマリア沖での海賊対処行動を開始して以降、日ジブチ二国間関係は急速に緊密化しており、2013 年 8 月の安倍総理のジブチ訪問をはじめ、外務大臣、防衛大臣等によるジブチ訪問、ジブチから大統領、外務国際協力大臣、国民議会議長等の訪日といった要人往来が活発になり、また、TICAD VI の際には首脳会談が行われるなど、友好関係が強化されている。

我が国は、TICAD VI の機会において、「経済の多角化・産業化」に関し、G7 伊勢志摩サミットの成果である「質の高いインフラ投資の推進のための G7 伊勢志摩原則」等をアフリカにおいて着実に実践し、経済活動の基盤となる質の高いインフラの整備を行う」と表明しており、「国道一号線改修計画」（以下、本計画という。）はこれらの方針に合致し、外交的意義が認められる。

- (2) 当該国における道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

同国政府は国家開発計画の実施戦略である 5 か年計画「成長加速化と雇用促進戦略（2015-2019）」（以下、「SCAPE」という。）の 4 本柱のうち、「経済インフラ整備や民間セクター競争力強化による経済成長」を第一の柱とし、運輸セクターでは競争力のある国際物流網整備を進めることと国内の地域開発促進と格差是正に向けた国内輸送網の充実が重要戦略とされている。一方、当該国の国道 1,194km の舗装率は 43%

に過ぎず（ジブチ国道路維持管理機材整備計画準備調査報告書（以下、「準備調査報告書」という。）、2016 年）、舗装率向上と道路状況改善に向けた道路整備・改修が SCAPE において重要課題とされている。

ジブチの国道一号線は、ジブチ港の位置する首都ジブチからエチオピア国境のあるガラフィまでの 219km を繋ぐ最重要幹線道路であり、エチオピアの輸入物資の 9 割以上が通過する（ジブチ回廊情報収集・確認調査報告書、2017 年）ジブチ回廊の大動脈である。国道一号線は全区間舗装されているが、状態が良好な区間は 54%に過ぎず、エチオピアとの国境であるガラフィ国境の通過車両数は 2013 年から 2017 年の 4 年間で倍増（税関情報より道路局推計）しており、ポットホールや路肩の損傷、舗装の剥離等が顕著である。特にガラフィ付近は通関業務のため渋滞が発生し、停車車両を避けて大型車両が舗装端部を通過するため路肩の損傷を加速させ、通行に時間を要することに加え、大型車両の安全な走行が確保されていない。ジブチの国際物流網の中心的役割を果たす国道一号線のボトルネック区間を改修する「国道一号線改修計画」（以下、「本計画」という。）は SCAPE が目指す国際物流網強化に資するものとして位置付けられている。

（3）道路セクターに対する我が国の協力方針等と本計画の位置付け

対ジブチ共和国国別開発協力方針（2014 年 4 月）において、「地域安定化の基盤の強化と経済社会に寄与する支援」を開発協力の基本方針としている。また、「持続可能な発展のための経済社会基盤整備」が重点分野とされ、その中で本計画は産業インフラ整備プログラムに位置付けられる。

（4）他の援助機関の対応

世界銀行はジブチ市内の道路改修を実施中。EU は国道一号線のアルタ～ムルード間の 50km を改修済。

（5）本計画を実施する開発政策上の意義

本計画は、我が国及び JICA の援助方針並びに同国政府の政策に合致し、国道一号線の改修を通じてジブチ回廊の発展に資するためインフラ整備を行うものであり、SDGs ゴール 9 に掲げる強靱なインフラ整備に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する開発政策上の意義は大きい。

3. 事業概要

（1）事業概要

① 事業の目的

ジブチ回廊上の要衝である国道一号線のうち特に損傷の進んでいる区間（約 20km）の改修を実施することにより、交通の円滑化及び安全の向上を図り、もって同国の持続可能な発展のための経済社会基盤整備に寄与することを目的とする。

② 事業内容

ア）施設、機材等の内容

【施設】国道一号線（ガラフィ～ヨボキ間のうちガラフィ側より約 20km）の改修
イ）コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、施工監理（協力準備調査にて確認する）

ウ）調達・施工方法

協力準備調査にて確認する

③ 他の JICA 事業との関係

実施中の無償資金協力「道路維持管理機材整備計画」(2016-2017)では、国道一号線も同案件の対象区間の一つとされている。本計画の協力準備調査においては同案件対象道路の詳細状況を再確認し、維持管理計画を修正する必要性等も確認する。また、同案件による道路維持管理機材の整備に加え、機材維持管理アドバイザーの派遣が予定されており、本計画で整備する道路の維持管理において連携が期待されている。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制

設備運輸省道路局 (Djibouti Road Agency (ADR), Ministry of Equipment and Transport)

② 他機関との連携・役割分担：特になし

③ 運営／維持管理体制

ADR は国道の運営・維持管理の責任を有し、国道一号線の通行料収入を、維持管理費等に充当している。現在、機材が不足しているが、我が国の無償資金協力による整備がなされれば通常の維持管理が可能な技術レベルを有している旨確認済み。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☒B ☐C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：

本計画は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010 年 4 月公布)に掲げる道路セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

(4) 横断的事項：特になし

(5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項：特になし

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

エチオピア連邦民主共和国における無償資金協力「第二次幹線道路改修計画」(2001 年 (1/2 期), 2002 年 (2/2 期))において道路の舗装構造は建設段階の経済性だけでなく、施設引渡後に道路管理者が維持管理しやすい設計とすべきとの教訓が得られており、本計画においても協力準備調査時に維持管理に配慮して設計を行うこととする。

以 上

[別添資料] 地図

国道一号線改修計画 地図



道路局基地の所在地

- | | |
|----------|-----------|
| 首都：ジブチ市 | (所掌地域：緑色) |
| 北部：タジュラ市 | (所掌地域：赤色) |
| 南部：ディキル市 | (所掌地域：青色) |